

2026 年 10 月 19 日

各位

株式会社富山第一銀行

「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の モニタリング結果の開示

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の取扱開始以降、2026 年 3 月末時点で 57 先の事業者さまにご利用いただいております。

本サービスを通じて、お取引事業者さまの企業活動における環境・社会・経済の 3 つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを低減する活動を支援させていただいております。

また、上記活動支援および評価書策定を通じて設定したKPIは、事業者さまの本業、環境問題、従業員さまの働きがい、各種認証取得等の幅広いテーマから設定させていただいており、事業者さまとの対話を通じて、達成状況のモニタリングと追加的なインパクトを創出するKPIの重要性にかかる啓発活動を実施しております。

今回モニタリング状況を開示させていただく 41 先につきましては、KPI 達成に向けて順調に取り組みが行われていることを確認のうえ、必要に応じてファーストバンク・コンサルティングサービスの活用等の KPI 達成に向けた支援の提案を実施しております。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じた SDGs の達成に寄与することで、さらなる信認につなげてまいります。

記

1. 今回モニタリングを実施した企業 （以下、敬称略 順不同）

企業名	当初評価	モニタリング実施
株式会社井上工務店	2023 年 3 月	2026 年 7 月
三和ボーリング株式会社	2023 年 3 月	2026 年 8 月
三晶エムイーシー株式会社	2023 年 3 月	2026 年 7 月
旭産業株式会社	2023 年 5 月	2026 年 6 月
共和土木株式会社	2023 年 7 月	2026 年 6 月
大富運輸株式会社	2023 年 7 月	2026 年 7 月
辰巳化学株式会社	2023 年 8 月	2026 年 6 月
株式会社フェイス	2023 年 8 月	2026 年 7 月
株式会社二葉金属製作所	2023 年 8 月	2026 年 7 月
社会福祉法人富山城南会	2023 年 9 月	2026 年 7 月
株式会社藤原重機	2023 年 9 月	2026 年 6 月
小川建設株式会社	2023 年 9 月	2026 年 6 月
株式会社ライズ	2023 年 9 月	2026 年 7 月
株式会社シンコー	2023 年 9 月	2026 年 7 月
塩谷建設株式会社	2023 年 12 月	2026 年 7 月
株式会社ナリキ	2023 年 12 月	2026 年 7 月
古川製材株式会社	2024 年 1 月	2026 年 7 月
有限会社荒木商会	2024 年 2 月	2026 年 7 月
カルバオン株式会社	2024 年 3 月	2026 年 7 月

NEWS RELEASE

企業名	当初評価	モニタリング実施
株式会社藤本自動車商会	2024 年 3 月	2026 年 7 月
北星ゴム工業株式会社	2024 年 3 月	2026 年 7 月
株式会社新陸運輸	2024 年 3 月	2026 年 4 月
株式会社林商店	2024 年 3 月	2026 年 8 月
株式会社ハクトー	2024 年 3 月	2026 年 7 月
医療法人社団城南会	2024 年 8 月	2026 年 7 月
藤堂工業株式会社	2024 年 5 月	2026 年 7 月
城西運輸機工株式会社	2024 年 6 月	2026 年 7 月
コンチネンタル株式会社	2024 年 8 月	2026 年 6 月
株式会社ナガイ運送	2024 年 9 月	2026 年 7 月
株式会社旭工業	2024 年 9 月	2026 年 7 月
株式会社アップデート	2024 年 9 月	2026 年 7 月
すみれアセットマネジメント株式会社	2024 年 11 月	2026 年 7 月
株式会社 E アル	2025 年 3 月	2026 年 7 月
構造メンテ株式会社	2025 年 2 月	2026 年 7 月
長岡工業株式会社	2025 年 3 月	2026 年 7 月
株式会社篠はら	2025 年 3 月	2026 年 7 月
ワカノ電工株式会社	2026 年 3 月	2026 年 7 月
株式会社白峰産業	2025 年 3 月	2026 年 7 月
ダイエープロビス株式会社	2025 年 3 月	2026 年 7 月
株式会社ナカムラ	2025 年 3 月	2026 年 7 月
株式会社富山陽成社	2025 年 3 月	2026 年 6 月

2. 各企業の KPI とモニタリング内容

【株式会社井上工務店】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・高山市産材の取扱割合を 90%まで引き上げる ・天然乾燥材使用割合を 90%まで引き上げる	・高山市産材の取扱割合 80% ・天然乾燥材の使用割合 70%	未達成
②	・木質チップの社内利用を 2028 年までに 800 m ³ へ引き上げる	・社内利用 700 m ³	未達成
③	・飛騨高山高校との演習林プロジェクトの毎年継続開催 ・インターンシップ毎年受け入れ 2 名	・演習林プロジェクト 2025 年 12 月 12 日開催(11 年目) ・2025 年度受け入れ 2 名	達成
④	・「安全衛生管理計画書」の遂行	・遂行済み	達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI 未達が 2 項目あるものの、進捗は良好。KPI①については、近年の運搬コスト増加により木材の取扱量に影響があるものの、仕入れ体制の見直しなどにより、高品質な高山市産材・天然乾燥材の取扱割合を引き続き増加させていく方針である。
- ・KPI②については、木質バイオマス発電所を 2026 年 4 月に本社敷地内に設置し、木質チップの社内利用を推進している。
- ・KPI の達成に向けて要因分析と対応策の検討が進み、社内共有もされている。同社と密なモニタリングを継続し、目標達成を支援していく。

【三和ボーリング株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・災害防止工事受注額 前年比+10%（毎年）	・2025 年比+18.3%	達成
②	・地中熱利用実用化に向けた取り組みに対する進捗報告（～2030 年）	・進捗報告あり（進捗良好）	達成
③	・環境マネジメントシステム「ISO14001」の取得（～2030 年）	・未取得(2030 年認証取得に向け進行中)	未達成
④	・定年を迎えた従業員の継続雇用率 90%以上（毎年：2023 年～2030 年）	・継続雇用率 93.3%	達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・自然災害の影響により災害防止工事の受注額が増加しており、KPI①の進捗は良好である。
- ・KPI②は、地中熱を利用した水耕栽培に関する共同研究計画を立案しており、次年度から本格的に研究をスタートする段階であり、進捗は良好である。
- ・KPI③の ISO 取得は 2030 年の取得を目標に、現在進行中の新規投資と共に進めている。
- ・KPI④の定年後の継続雇用は、組織の貴重な人材として雇用条件や安全面を考慮しつつ継続率を高めている。
- ・4 項目中 3 項目で達成しており、未達成の項目も 2030 年までに達成を予定。同社事業にとっては外部環境の追い風もあり、外部機関との共同研究の進捗をモニタリングしつつ、引き続き目標達成に向けた支援を行う。

【三晶エムイーシー株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・廃棄率を 2028 年までに 0.52%以下にする ・仕損率を 2028 年までに 1.00%以下にする	・廃棄率 0.43% ・仕損率 0.86%	達成

②	・ IATF16949、ISO9001、ISO14001 の維持・更新	・ 認証維持	達成
③	・ 太陽光発電システムの発電量 500,000kW(～2028 年)	・ 546,228kW (2025/4～2026/3) ・ 539,299kW (2026/4～2026/6)	達成
④	・ 出産・育児休暇の復職率 100%	・ 復職率 50%	未達成
⑤	・ 有給休暇取得率 62%以上	・ 取得率 65%	達成
⑥	・ 60 歳の定年再雇用希望者の雇用率 100%	・ 雇用率 100%	達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・ KPI①の廃棄率・仕損率が抑制できたのは新規製品受注割合が低かったことによるものであり、新工場稼働後の数値把握が今後の課題である。
- ・ KPI③については今後も太陽光パネルの設置を計画的に実施することで発電量増加も見込まれる。
- ・ KPI④の復職率は従業員の生活環境等を優先しており未達成であるが、引き続き復職しやすい環境づくりに努めることで達成を目指していく。
- ・ 同社の積極的な取り組みを踏まえ達成項目が着実に増えていることから、今後更に高い目標の設定を検討していく。

【旭産業株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・ ISO9001、ISO14001 の認証維持	・ 認証維持	達成
②	・ 2028 年 5 月までに CO2 排出量を 2019 年度(コロナ禍前) 対比で 24%削減	・ CO2 排出量 10%削減	未達成
③	・ 2023 年 12 月までに妊娠中や産休・育休復帰後の女性従業員のための相談窓口を設置	・ 相談窓口を設置済み	達成
④	・ 2023 年 12 月より育児休業等を取得しやすい環境づくりのため、管理職への研修を年 1 回以上実施	・ 管理職への研修を研修実施済み	達成
⑤	・ 2024 年 3 月までにノー残業デーを設定・実施	・ ノー残業デーを実施済み	達成
⑥	・ 2028 年 3 月までに「健康経営優良法人」の認定取得	・ 認定申請中(未取得) 「とやま健康企業宣言」は取得済み	未達成
⑦	・ 2028 年 5 月までに従業員 1 人あたりの平均残業時間を 10 時間以下とする	・ 平均残業時間 6.2 時間	達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・ KPI②の CO2 排出量削減については、着実に実施されている。
- ・ KPI⑥の健康経営優良法人の認定取得に向け申請を行う段階にあり、早期の認定取得を目指していく。また、先行して「とやま健康企業宣言」を取得した。
- ・ KPI⑦の平均残業時間の縮減については、足元で受注減少の影響により抑制されているが、受注回復時には増加が予想される。効果的な削減策の実施と進捗モニタリングを継続することが重要である。
- ・ 未達成の項目もあるが、いずれも期間設定のある目標で進捗に特段の懸念はない。目標達成に向けて各種支援やモニタリングを継続する。

【共和土木株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・売上高に占める災害防止工事受注額前年比 +3.0%	・2025 年 5 月期:886,366 千円 2026 年 5 月期:801,670 千円 前年比△9.55%	未達成
②	・品質マネジメントシステム「ISO9001」認証取得継続	・認証継続	達成
③	・環境マネジメントシステム「ISO14001」認証取得継続	・認証継続	達成
④	・リサイクル材の売上高前年比+3.0%	・対象の事業部門は譲渡済み	未達成
⑤	・健康経営優良法人の認定取得継続	・認定継続	達成
⑥	・有給休暇取得率 60%以上	・有給休暇取得率 85%	達成
⑦	・定年を迎えた従業員の継続雇用率 100%	・継続雇用率 100%	達成
⑧	・休業 4 日以上労働災害件数 0 件/年	・労働災害件数 0 件	達成

＜取り組み状況の進捗と今後の課題＞

- ・KPI①は国や県の公共工事が対象であり、外部要因による影響が大きいが、目標達成に向けて引き続き意欲的に取り組んでいく方針である。
- ・その他の KPI は積極的な取り組みにより目標達成している状況であるが、KPI④については、対象の事業部門を既に譲渡しており、代替の目標設定について検討を行っている段階である。

【大富運輸株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・新規顧客開拓 年間 2 件	・年間 4 件増加	達成
②	・2018 年度を基準に GHG 排出量を 2028 年までに 23%削減	・2025 年度 GHG 排出量 47.1%削減	達成
③	・燃費向上 対前年比 1% (2022 年度 平均 2.31km/ℓ)	・燃費向上 対前年比 2% (2025 年度 平均 2.47km/ℓ)	達成
④	・被害事故除く交通事故件数ゼロ	・交通事故件数 3 件	未達成

＜取り組み状況の進捗と今後の課題＞

- ・KPI①、②、③については経営者の方針が従業員へ浸透しており、行動に繋がっており高い水準で目標を達成している。
- ・KPI④については、ドライバーの交通安全意識向上を目指し安全教育を習慣化しているものの、足元では事故が発生している。引き続き、安全教育の意識レベル向上を目指し、社内研修や教育を行うことで交通事故件数ゼロを目指していく方針である。

【辰巳化学株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・年間生産数量 25 億錠以上(～2028.6)	・2026 年 6 月期 年間生産数量 14.7 億錠	未達成
②	・2028年までにエコアクション21の認証を取得する	・認証取得済み 取得日：2026 年 1 月 30 日	達成
③	・2028年までに健康経営優良法人の認証を取得する	・認証取得済み 取得日：2025 年 3 月 10 日	達成

＜取り組み状況の進捗と今後の課題＞

- ・KPI①については、生産工程の見直し、医薬品の管理体制高度化、業界動向の変化により未達成であるものの、2028 年 6 月期までに生産体制と能力の強化を図り、年間生産数量年間 25 億錠以上の達成に

NEWS RELEASE

向けた取り組みを継続していく。

- ・本業での KPI 達成に向けて必要な支援やモニタリングを継続すると共に、既に達成した環境面・雇用面における追加的な KPI 設定もあわせて検討する。

【株式会社フェイス】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・「パンだ缶」の販売数量 前年比+10% (2023 年～2030 年まで毎年)	・ 2024 年 1 月～2024 年 12 月 278,000 個 ・ 2025 年 1 月～2025 年 12 月 235,000 個 販売数量 前年比△15.4%	未達成
②	・ 低公害車の導入率 2030 年までに 100% (2023 年 6 月時点：47%)	・ 2025 年 12 月 低公害車の導入率 47%	未達成
③	・ GHG 排出量の計測開始 (2030 年に 2023 年対比で 14%削減)	・ 未実施	未達成
④	・ 女性社員比率 2030 年までに 30%以上 (2023 年 6 月時点の女性社員比率：20%)	・ 2025 年 12 月 女性社員比率 20%	未達成
⑤	・ 女性の役員比率 2030 年までに 50%以上 (2023 年 6 月時点：33%)	・ 2025 年 12 月 女性役員比率 33%	未達成
⑥	・ 60 歳定年時の再雇用率 2030 年まで毎年 100% (2015 年～2022 年累計実績：95%)	・ 2025 年 12 月 再雇用率 66.7%	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・ KPI①については、自然災害による特需が落ち着いたことから未達成となった。今後は新たな販路の開拓や既往取引先への販売量の増加を目指し取り組みを進めていく。
- ・ KPI②については、保有する車両の入替のタイミングでの導入を計画しており、引き続き達成を目指す。
- ・ KPI③については、自社単独で GHG 排出量の計測をできる体制が整っていないことから、モニタリングの中で伴走支援を行い、体制の構築を目指していく。
- ・ KPI④については、女性が働きやすい環境を整えることで新規雇用と雇用の維持の両面で比率を高めていく意向である。
- ・ KPI⑤については、進捗モニタリング基準日以降、女性役員登用を実施しており次回の公表時には達成できる見通し。
- ・ KPI⑥については、従業員の希望に応じて対応している一方、生活環境によりやむなく退職するケースも一定数あることから長期的な目線で労働環境を整えていく。
- ・ 未達成項目については、引き続き未達要因や課題を特定し、モニタリングにて支援していくものの、必要に応じて KPI の見直しを検討する。

【株式会社二葉金属製作所】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・ ISO9001 の更新・維持	・ 更新手続き中	達成
②	・ 不良率を 2028 年度までに 0.5%以下にする（実績開示）	・ 2026 年 5 月期 不良率 0.62%	未達成
③	・ 2028 年度までに加工ロス換算金額を 10 百万円以内にする（実績開示）	・ 2026 年 5 月期 加工ロス換算金額 11 百万円	未達成

④	・ISO14001の更新・維持	・更新手続き中	達成
⑤	・2028年度までに製品1個当たりCO2排出量を2022年度比10%削減 参考：2022年度実績0.0045kg-CO2/個	・2025年度 0.0035 kg-CO2/個 削減率22.2%	達成
⑥	・2025年度までに有給休暇取得率50%以上にする（実績開示） 参考：2022年度実績34.9%	・2025年度29.6% ・2026年度46.4%	未達成
⑦	・出産・育児休暇の復職率100%の継続（実績開示） 参考：2022年度実績100%	・復職率100% 1名の復職者を継続雇用	達成
⑧	・60歳定年再雇用希望者の再雇用率100%（実績開示） 参考：2022年度実績100%	・再雇用率100% 1名の再雇用者を雇用	達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①のISO更新手続きは2026年8月に実地監査を受けており、引き続き更新の見通し。
- ・KPI②の不良率、KPI③の加工ロスが現在の課題であり、生産管理体制の高度化による不良率および加工ロスの削減を目指していく。
- ・KPI⑤のCO2排出量は着実な取り組みにより目標を達成。また、KPI⑦、⑧の復職・再雇用率は働きやすい職場環境の実現により100%を維持している。
- ・KPI⑥の有給取得率改善に向け会社全体での意識向上が必要であり、経営側からの働きかけを実施していく予定。なお、目標期限を迎えているため新たな目標設定が必要であるが、まずは当初の目標水準の達成を目指す。

【社会福祉法人富山城南会】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・研修や勉強会の開催・参加 12回/年 (前年度実績10回)	・2025年度 開催・参加 24回/年	達成
②	・職員の介護福祉士試験 合格率80% (過去5回の全国平均合格率74.2%)	・2025年度 合格率78%	未達成
③	・2026年までに外国人材を2名以上、正社員として採用する（策定時0名）	・2025年度 正社員の外国人材4名採用	達成
④	・育児休業率100%の維持	・2025年度 育児休業率100%	達成
⑤	・主要3施設における廃棄物（オムツ使用量）を5年後に2022年度比で削減させる 参考：2022年度94,945kg ※但し稼働率を勘案した取り組みとする	・2023年度：87,185kg ・2024年度：90,636kg ・2025年度：85,774kg ・2026年度：76,411kg（途中経過）	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI②については最新の情報取得を踏まえた研修や勉強会の成果により達成目前であり、早期達成が期待される。近年は介護福祉士の有資格者を途中で採用しており、受験者数自体は少数。引き続き合格率80%に向けて取り組んでいく。但し、今後受験者数が低調に推移する場合は、介護職員の有資格者の割合とすることを検討する。
- ・KPI③については近隣の学校との連携により外国人材を4名採用。2年後には3名の外国人材入社が見込まれる。4年後においても4名程度採用する方針。
- ・KPI⑤について、2025年度はオムツ・パッドの選定について研修実施、適正な種類を採用したことで消費量削減。2026年度は機能訓練の重視、トイレ誘導比率の向上、平均介護度の低下によるオムツ交換頻度が減少したため低下傾向にある。現時点において目標値を達成しているものの継続目標であることから、継続して取り組みしていくことで目標期限での達成を目指す。

【株式会社藤原重機】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・工事受注額 前年比+3% (毎年：2023 年～2030 年) ※但し、新規事業での増加は除く	・2025 年度：受注額 前年比+10.5% 2024 年度：954 百万円 2025 年度：1,055 百万円	未達成
②	・最新の環境性規制に対応した重機の割合 現在：31%→2030 年：50% (主力重機であるバックホウを対象)	・2025 年度：重機の割合 46.1% 保有台数 78 台中、対応機種 36 台	未達成
③	・産業廃棄物中間処理施設の設置 (2030 年) ・建設残土リサイクル・山土砂販売部門売上高 100 百万円(2030 年)	・2025 年度実績 中間処理施設の許認可申請中 ・山土砂販売部門売上高 29 百万円 (進捗率 29%)	未達成
④	・毎年新規採用を 1 名以上行う (～2030 年) ・休業 4 日以上の方災件数 0 件継続 (2022 年実績 0 件) ・有資格者の増加 (施工管理技師、登録機械土工基幹技能者) 2023 年度比 +5 名 (～2030 年)	2025 年度実績 ・新規採用 7 名 (現場 5 名、経理 2 名) ・方災件数 0 件 ・有資格者 2023 年度比+5 名	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①の本業においては順調に成長しており、現時点で実現されているが 2030 年までの継続目標であることから今後も成長を目指していく。
- ・KPI②は期間内達成が見込まれ、進捗良好。
- ・KPI③は許認可遅延により進捗率低調であるものの、新規事業として着実に進行している。
- ・KPI④は有資格者の項目において達成しているものの、採用、方災件数 0 件は毎年の継続 KPI であり、引き続き達成を目指していく。

【小川建設株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・「安全性優良事業所」認定維持	・認定維持 (2028 年 2 月 31 日まで有効)	達成
②	・従業員の取得資格・免許の前年比増加	・前年比+2 名 2024 年度 1 名取得 合計 25 名 2025 年度 2 名取得 合計 27 名	達成
③	・有給休暇の年間平均取得日数を 16 日以上にする【※2022 年度実績 15.4 日、2020 年度全国平均 10.1 日】	・平均取得日数 15.4 日 R6 年度 13.5 日 R7 年度 15.4 日	未達成
④	・大型車両の年間平均燃費の向上 対前年比 1% 向上 (参考：2022 年度 平均 1.86km/ℓ)	・対前年比 14.4%向上 2024 年度平均 2.01km/ℓ 2025 年度平均 2.30km/ℓ	達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①は引き続き認定が維持されており、達成している。
- ・KPI②～④は毎年の目標であるため継続して数値を確認し、モニタリングとサポートを引き続き実施していく。なお、KPI②、④については単年度の目標値を達成しており進捗は良好と判断できる。
- ・KPI④については、着実に目標値に近づいており、引き続き期間内での達成を目指していく。
- ・全体として進捗は良好であり、今後も会社全体の取り組み推進項目として周知し目標達成を目指していく。

【株式会社ライズ】

	KPI 内容	実績	達成状況
①	・2028 年までに売上高 25%増加 (2022 年度売上高 1,198 百万円)	・2025 年度売上高 156%増加 2025 年度売上高 3,069 百万円	達成
②	・2019 年度を基準に GHG 排出量を 2028 年までに 37%削減	・2025 年度 GHG 排出量 72.1%削減	達成
③	・推奨資格取得率 100%	・取得率 0%	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・本業において、データセンター需要の高まりから売上高が順調に推移しており KPI①については前倒しで達成している。引き続き、自動化・省力化機械の供給拡大を目指していく。
- ・KPI②については、太陽光パネル設置や社内啓発で GHG 排出量を大幅削減しており継続方針。
- ・KPI③の資格取得において、難易度の高い資格が多く苦戦しているが、高い技術力、専門知識が要求される業界であり、人材育成の観点からも KPI は継続する。また、報奨金を設定するなどして従業員の資格取得への意欲向上を図っていく。
- ・KPI①、②は目標期限を前倒しで達成しており、2028 年までのモニタリング期間中に追加目標を設定する。

【株式会社シンコー】

	KPI 内容	実績	達成状況
①	・2028 年 5 月期までに売上高 15%増加 (2023 年 5 月期 売上高 4,761 百万円)	・2025 年 5 月期 売上高 8.3%増加 売上高 5,156 百万円	未達成
②	・不適合再手配品の削減率 3%(2028 年まで毎年 前年比 3 %削減) ・環境に関する社会貢献活動の取組状況と開示 内容	2025 年 5 月期 ・再手配品削減率 33.4% ・社会貢献活動と開示 ①クリーン作戦 ②省電力設備の導入 ③パレット入出庫管理システム導入	達成
③	・管理職に占める女性割合を 2025 年まで 20%以上を維持 (2022 年実績：22%) ※2025 年に KPI の再設定を予定する ・ノー残業デーの遵守率を 2028 年まで毎年 100%を達成 (2022 年実績：99.7%) ・育児休暇取得率を 2028 年まで毎年 100%を達成 (2021 年：100%、2022 年：該当者なし)	2025 年 5 月期 ・管理職に占める女性割合 25% (8 名中 2 名) ・ノー残業デー遵守率 99.7% ・育児休暇 対象者 0 名	未達成
④	・管理職に占める女性割合 20%以上を維持する (～2028 年)	・次回公表	—

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①は 2028 年までの目標であり、現在は増産に向けた積極的な設備投資を継続中。中小企業庁の推奨する「100 億宣言」にて 2034 年に売上高 100 億円の達成を目指しており、半導体製造装置フレームなど品質の高い製品供給拡大により 2028 年 5 月期までに KPI 水準の到達を引き続き目指していく。
- ・KPI②の社会貢献活動については、クリーン作戦として年 1 回全社員で会社周辺を清掃することで地域社会の環境保護活動に貢献している。また、省電力設備や管理システムの導入により脱炭素経営を実践している。
- ・KPI③の女性管理職比率は 2025 年までの目標として達成済み。

NEWS RELEASE

- ・今回、KPI④として期限が到来した「管理職に占める女性割合」について新たな目標を設定した。また、ノー残業デー遵守率については達成目前であり、継続した取り組みを実践していく。なお、育児休暇取得率については対象者がいないことから未達成であるが、今後対象者がいる場合には、取得率 100%を目指していく方針に変わりない。

【塩谷建設株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・ ZEH 基準の新築住宅年間完工戸数前年度比 + 30%(～2026 年)	・ ZEH 基準完工戸数前年度比▲ 33.3% <実績> 2024 年度 9 棟、2025 年度 6 棟	未達成
②	・売上高 1,000 千円あたりの CO2 排出量を 2022 年度比 2%削減 (2022 年度実績 150kg-CO2)	・ CO2 排出量 43%削減 <実績> 2025 年度 65kg-CO2	達成
③	・ 2025 年度新規採用者数 24 名 (毎年目標値を更新)	・ 新規採用者数 12 名	未達成
④	・ インターンシップ参加者からの採用者の比率を毎年度 20%とする	・ 2025 年度採用者比率 70%	達成
⑤	・ 時間外労働平均時間 10%削減(2022 年度比) (2022 年度社内平均 15 時間/月)	・ 時間外労働平均時間 23%削減 <実績> 2025 年度社内平均 11 時間 30 分	達成
⑥	・ 年次有給休暇 1 人当たり平均 10 日以上取得	・ 年次有給休暇取得日数 8.9 日	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・ KPI①については 2024 年度比で減少したものの、引き続き高気密高断熱で環境性能が高い住宅をより広く提供する方針に変わりなく、今後も前年度比+30%を目指していく。
- ・ KPI②の CO2 排出量削減においては、「エコアクション 21」の認証を継続する中で社内全体の意識が高まっており、引き続き削減を目指していく。但し、既に大きく達成しているため見直しを協議していく。
- ・ KPI③の新規採用者数は、一定数を確保できているが目標と実績の乖離が大きい。会社の魅力発信を継続的かつ全社的に行うことで採用の強化を図り、採用者数の増加を目指していく。
- ・ KPI⑥については、着実に有給休暇取得日数の増加が図られており、今後も会社全体の取り組み推進項目として周知し目標達成を目指していく。

【株式会社ナリキ】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・ 消雪遠隔操作・監視システムによる管理件数 2028 年 200 件 (管理件数実績：2021 年 175 件、2022 年 178 件、2023 年 180 件)	・ 2025 年 管理件数 184 件	未達成
②	・ CO2 排出量の可視化 排出削減目標の設定と施策の策定 (～2025 年)	・ 未実施	未達成
③	・ CO2 削減施策の実施 (2026 年～)	・ 未実施	未達成
④	・ エコアクション 21 の認証取得 (～2025 年)	・ 未取得	未達成

⑤	・インターンシップ、学生向け職場体験の受入れ継続（～2028年）	・2025年 「14歳の挑戦」受入れを継続実施	達成
⑥	・健康経営優良法人の認証取得（～2026年）	・未取得	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①の消雪遠隔操作・監視システムによる管理件数については、2028年計画の200件に向け、概ね計画通りに推移している。
- ・KPI②、③、④については、まずCO2排出量の可視化が前提であるが、本業を優先していたことから進捗率は低い（当初、②は2025年度までの達成を目指していた）。但し、モニタリングを通じてCO2排出量の可視化に向けた動きを開始しており、排出削減目標の設定までを速やかに実施していく。KPI③については、太陽光発電設備を導入しCO2削減に取り組んでいるが、他の削減施策も検討していく予定。
- ・KPI⑥は優先度が劣後しており、まずは環境KPI②、③、④を優先して取り組んでいく予定である。
- ・KPI②、④については当初設定した期限（2025年まで）が到来していることから、期限を2027年までに再設定する。

【古川製材株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・グループ従業員（パートを含む）の年一回以上の健康診断受診率 100%（2023年度実績 100%） ・従業員の社会人としてのスキルアップを目的に向け「人間力開発」をテーマとした社内研修を年12回行う（2023年度実績：10回）	2025年度 ・健康診断受診率 100% ・社内研修 15回/年	達成
②	・2026年までにGHG排出量の「見える化」体制の構築を構築し SBT 認定水準のGHG削減目標を設定・開示する ・2026年以降は設定した目標に基づき排出削減に取り組む	・未実施	未達成
③	・岐阜エリアにおける、2024～2028年度の5年間で「SE構法」「全館冷暖房」導入住宅着工累計件数を100棟とする（年間平均20棟：2022年度岐阜県全域における着工件数実績10棟）	2025年度 ・当該住宅着工累計件数8棟	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①の健康診断については、グループ企業含めて全員実施しており、引き続き福利厚生の実施を図り、従業員の定着率を高めていきたい考え。また、研修については、社内主導研修が8回、外部講師研修が7回の計15回実施。今後も研修回数に加えて、研修の質を高めていく方針である。
- ・KPI②については、グループ体制の見直しを優先したことからGHG排出量の「見える化」体制の構築に至っていない。現状は推進責任者である役員と担当者の選定を実施した段階であり、2026年12月を目途にGHG排出量を算出し、以降の目標設定と開示を行うことを計画する。
- ・KPI③については、「SE構法」「全館冷暖房」住宅の件数が8棟と伸び悩んでいるが、顧客への宣伝強化により目標達成を目指す方針に変わりない。

【有限会社荒木商会】

	KPI 内容	実績	達成状況
①	・2024 年に本格稼働するリユース・リメイク事業の売上高 2027 年度 100 百万円 ※2028 年度以降の目標は改めて設定予定	・2025 年度売上高 41 百万円	未達成
②	・2026 年度までに環境経営システム「エコステージ 3」の認証取得 ・2026 年度までに GHG 排出量が見える化し、削減目標を設定（2027 年度以降は削減に取り組む）	2025 年度 ・エコステージ 3 未取得 ・GHG 排出量の見える化は未実施（但し、温室効果ガス排出量検査機を導入）	未達成
③	・障がい者・難民申請者・就職困難者・高齢者・デュアルキャリア採用の中から毎年 2 名以上を雇用 ・2025 年度までに人事評価制度の新規導入 ・2025 年度までに階層別研修制度を制定	2025 年度 ・当該雇用者 3 名 ・人事評価制度未導入 ・階層別研修制度の運用開始	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①は広告や営業の効果により来客数は増加傾向にあるものの、進捗率に課題が残る。今回、足元の状況を鑑みて KPI 目標値の見直しを実施する。リユース、リメイク事業の売上高目標を 2027/3 月期 60 百万円、2028/3 月期 80 百万円とし、従業員を中心としたプロジェクトチームにて来客者数および販売額増加策を検討、実践する中で目標達成を目指す方針。
- ・KPI②の「エコステージ」については、現在「エコステージ 2」認証を取得済み。「エコステージ 3」取得に向けた管理体制が整ったことから、今後申請を進めていく。また、GHG 排出量の算出においては検査機の導入により一部進展は見られたものの、全体として「見える化」には至っていない。今後の取り組みを加速させるべく、2026 年度中の算出および削減目標設定を目指す。
- ・KPI③において人事評価制度のドラフトは完成。今後は内容を精査の上、導入を目指していく方針であり必要に応じて当行の伴走支援を実施していく。階層別研修制度の運用は開始されており、昇格・昇進の要件としての受講を必須化していく。

【カルバオン株式会社】

	KPI 内容	実績	達成状況
①	・[プロダクションセンター] 売上高目標 2024 年 12 月期 1,500 百万円 2028 年 12 月期 2,000 百万円 ・[システムセンター] 売上高目標 2024 年 12 月期 280 百万円 2028 年 12 月期 400 百万円 ・[A&D センター] 売上高目標 2024 年 12 月期 500 百万円 2028 年 12 月期 620 万円 ・[R&D センター] 売上高目標 2024 年 12 月期 120 百万円 2028 年 12 月期 139 百万円	・[プロダクションセンター] 2024 年 12 月期 1,300 百万円 2025 年 12 月期 1,351 百万円 ・[システムセンター] 2024 年 12 月期 223 百万円 2025 年 12 月期 233 百万円 ・[A&D センター] 2024 年 12 月期 293 百万円 2025 年 12 月期 383 万円 ・[R&D センター] 2024 年 12 月期 57 百万円 2025 年 12 月期 68 百万円	未達成
②	・2024 年 12 月期の電力使用量を 2023 年 12 月期比で 3%削減する ※2024 年 12 月期は 2023 年 9 月竣工の入善工場分を除外して計算する ※2024 年 12 月期以降の目標は、モニタリングの中で実績値を踏まえて改めて設定する	2025 年 12 月期 ・電力使用量 +23.4% ・CO2 排出量の計測体制は整えたが、排出量目標設定は未了	未達成

	・CO2 排出量の計測を 2024 年度中に開始できる体制を整え、モニタリングの中で排出 量削減目標を設定し、削減に向けて取り組んでいく		
③	・2028 年 12 月期までにプラチナくるみの認定を取得	・未取得	未達成

＜取り組み状況の進捗と今後の課題＞

- ・KPI①における部門別売上は 2024 年目標未達も、2028 年目標に向け多くの部門で着実に伸長中。会社方針として引き続き目標達成を目指していく方針。
- ・KPI②の電気使用量は工場増設と設備導入により増加傾向にある。削減策の検討にあたり、外部機関と連携しながらモニタリングにて支援していく。CO2 排出量目標については設定できていないものの、今後の重点的な取り組みとすることを確認しており、早期の設定を目指していく。
- ・KPI③については、設備投資対応を優先したことから取り組みできていないものの、目標期間までの認定取得に向けて進めていくことを確認した。必要に応じ、当行の伴走支援や外部支援を活用していく方針。

【株式会社藤本自動車商会】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・2024年度～2028年度までの濁水処理設備新規レンタル累計契約数 250件（2018～2022年度累計契約数239件）	・2025 年度累計契約数 193 件	未達成
②	・2028年度までに、オフロード建設機械（公道を走行しない特殊車両）10台を排ガス規制の新基準に適合した重機へ入れ替える。（オフロード法の排ガス規制対象車両はすでに新基準へ対応済。今後は 対象外車両について積極的な入れ替えを推進）	・未実施	未達成
③	・新卒・中途採用を問わず毎年1名以上を新たに採用する（2024～2028年度）	・2024 年度：新卒 1 名 2025 年度：中途 1 名 2026 年度：新卒 1 名	未達成
④	・2028年度までに 2 級自動車整備士等をはじめとする業務関連の免許取得者数をのべ20名増加させる	・2025 年度免許取得者数+5 名	未達成
⑤	・2028年度まで休業 4 日以上の方災0件を継続（2020年～2022年度0件）	・2025 年度方災 0 件継続中	未達成

＜取り組み状況の進捗と今後の課題＞

- ・KPI①については、着実に契約数が伸びており進捗は良好。
- ・KPI②のオフロード建設機械は 10 台単位での一括注文が必要であることから、導入時期を検討しており、適切なタイミングでの入替を予定する。
- ・KPI③、④、⑤については期間設定のある目標であり、現状の進捗は良好と判断できる。
- ・引き続きモニタリングを行いながら、進捗の悪化や計画からの乖離がある場合は必要な支援や助言、提案等を行う。

【北星ゴム工業株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・2026年7月期まで毎期、建築・建材部門売上高を前期比3%以上増加させる	・前期比+3.2% (2024年7月期比) 2024年7月期 1,493百万円 2025年7月期 1,541百万円 2026年7月期 1,478百万円 (着地予想)	未達成
②	・2024年7月期中にCO2排出量削減目標を設定し、2025年7月期以降は設定した目標に基づき排出量削減に取り組む ・2026年7月期までに、原材料として使用するゴムの総量に対する廃棄ゴムの割合を2023年7月期比2%(約70~80t相当)削減する(2023年7月期実績値…19.7%)	・2030年までに2019年対比で27%のCO2排出量削減を目標に設定 ・2025年7月期CO2排出量 7,218t(2019年対比△27.9%) ・2025年7月期廃棄ゴム割合 19.1%(2023年対比△3.0%) ※2026年7月期実績値については、19%を下回る見込み)	達成
③	・労働災害撲滅に向けて研修内容の充実等を図り、労働災害の発生件数を0とする ・2026年7月期までに、女性役職員(管理職等)を3名登用する(現時点での女性役職員は0名)	2025年7月期 ・労働災害発生件数0件 ・女性役職員登用5名	達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①における建築・建材部門は目標未達であるが、住宅着工件数が減少している中で堅調な売上を維持しており、今後も積極的に受注拡大を目指す方針。住宅着工件数が減少傾向という厳しい外部要因の中、いかに目標を達成するか創意工夫していく。
- ・KPI②におけるCO2排出量と廃棄ゴム削減は目標を達成。CO2排出量については、入電時間の適正化や太陽光発電設備の導入を行った。廃棄ゴムの削減については、製造工程のマニュアル化することで、作業手順の効率化や歩留まり率の改善につながった。
- ・KPI③の女性役職員数については、昇格制度を活用して積極登用し目標を達成した。

【株式会社新陸運輸】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・2024年3月に建設した新倉庫の稼働率を2030年度までに年間平均90%以上にする(新倉庫の保管可能面積：990㎡)	・2025年度新倉庫稼働率 85.6%	未達成
②	・GHG排出量を2025年度までに2022年度対比5%削減(2026年度以降の目標は改めて設定) (2022年度実績 1,736,941kg-CO2)	・2025年度 GHG排出量 1,692,955kg-CO2 2022年度比 2.59%削減	未達成
③	・営業車の燃費を2025年度までに2022年度対比3%向上 (2022年度実績 平均 4.35km/ℓ)	・2025年度 営業車の燃費 4.41km/ℓ 2022年度比 1.38%向上	未達成
④	・被害事故を除く交通事故件数ゼロ (2022年度実績 4件)	・2025年度交通事故件数 4件	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・ KPI①については既往取引先からの倉庫需要を受け稼働率が順調に上昇。今後は営業活動による稼働率上昇も視野に入れている。
- ・ KPI②、③については、遠方輸送時に可能な限り高速道路を使用することで二酸化炭素排出量の削減や燃費の向上に取り組んでいる。
- ・ KPI④における交通事故件数は4件と未達成。2026年2月から勤怠および飲酒チェックの管理システムを導入しデータ上で管理している。また、月1回開催する事故防止に向けた会議にて事故ゼロに向けた取り組みを強化している。
- ・ 環境目標については今後協議を行い、新たに目標を設定する。

【株式会社林商店】

	KPI 内容	実績	達成状況
①	・ 機密文書処理事業の年間売上を2028年度までに30百万円とする (2022年度実績年間売上：3百万円)	・ 2025年度売上高5.7百万円	未達成
②	・ 2023年度中に機密文書処理事業に新たにHDD等データ処理を行える体制を整える	・ 2025年度HDDデータ消去サービスを事業化	達成
③	・ 新規事業であるリユース事業の年間売上を2028年度までに100百万円とする (2022年度実績0、2023年度事業開始)	・ 2025年度売上高4.6百万円 Re・なんと 3.1百万円 Re・いみず 1.5百万円 ※リユース売上のみ（資源収入・清掃事業を除く）	未達成
④	・ 2024年度までにリユース品の海外輸出を開始する。以後、海外現地での事業化に向けた目標設定を行う	・ 未実施	未達成
⑤	・ 毎年の年間採用数1名 (直近3年度実績平均1.6名)	・ 2025年度採用数3名	達成
⑥	・ 毎年の労災事故発生件数0件 (2022年度実績2件)	・ 2025年度労災事故件数2件	未達成
⑦	・ 毎年の有給休暇取得率80% (2022年度実績59.8%)	・ 2025年度取得数60.5%	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・ KPI①機密文書処理事業、KPI③リユース事業の売上高は低調であるものの着実に増加傾向にある。2028年度のKPI目標達成に向けて引き続き取り組んでいく。
- ・ KPI②については、機器の充実、作業手順のマニュアル化が今後の課題であり着実に整備を進めていく。
- ・ KPI④については計画より遅れつつあるが、現在リユース品の海外輸出開始に向け条件を交渉しており、KPI達成に向け、進捗状況を確認していく。
- ・ KPI⑥は労災事故が2件発生。安全教育を徹底し、労災事故発生件数0件に向けて取り組んでいく。
- ・ 未達成ながら一定の進捗もある中、取り組みの深度にバラつきがあることから、モニタリングや必要に応じたサポートを徹底し、目標達成を目指す。

【株式会社ハクトー】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・津幡エリアにおける宅地分譲実績を 2024～2028 年度の 5 年間で 200 区画とする (年間平均 40 区画)	・2025 年度 宅地分譲実績 44 区画	未達成
②	・2026 年までに関連子会社である THN 株式会社で研究開発中の炭化炉(※)の商品化と販売目標の設定 ・2026 年以降は設定した販売目標に基づき商品販売を進める ※酸素を使わない(焼却しない)で熱により廃棄物などを分解し、炭酸ガスを発生させず、炭化された炭は肥料や燃料に資源活用が可能となる	・2025 年度 炭化炉を開発中	未達成
③	・全従業員の年間有給取得率 80%以上とする (2023 年度年間有給取得率実績：39%)	・2025 年度有給取得率 58%	未達成

＜取り組み状況の進捗と今後の課題＞

- ・KPI①において、津幡エリアの宅地分譲は堅調に造成・販売が進んでいる。目標達成に向け、年平均 40 区画という目線はクリアしており、進捗は良好であると判断。
- ・KPI②の炭化炉開発は苦戦しており、商品化までは至っていない。商品化までに時間を要していることから、今後の進捗を見極めつつ、KPI 項目の見直しを検討する可能性がある。
- ・KPI③の有給取得率は目標との乖離はあるものの、当初の 39%から改善しており、達成に近づいている。引き続き KPI の 80%以上を目指していく方針。

【医療法人社団城南会】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・2026 年度までに健診専門部署による健診受入件数を年間 1,000 件以上とする 以降は改めて目標を設定する	・2025 年度 検診受入件数 1,410 件	達成
②	・2026 年度までに全職員が参加する研修・勉強会の開催回数を年間 14 回とする。うち、2 回は医師会(保健師や認定看護師)や消防、警察などの外部機関・地域と連携した専門性の高いものとする(2023 年度実績：12 回) 以降は改めて目標を設定する	・2025 年度 研修勉強会開催件数 14 回	達成
③	・2026 年度までに勤続 3 年以上職員の資格取得率 90%とする(2023 年度実績：84%) 以降は改めて目標を設定する	・2025 年度 取得率 60%	未達成
④	・2024～2026 年度までの奨学金制度の利用者を合計 45 名とし、国家資格試験合格者を 100%とする。(2023 年度実績：利用者数 13 名、合格率 85.7%) 以降は改めて目標を設定する	2025 年度 ・奨学金制度利用者 47 名 国家試験合格率 73%	未達成
⑤	・2026 年度までに全施設の GHG 排出量を算定し、削減目標を設定する 以降は当該目標に沿った削減を進める	2025 年度 ・全施設の GHG 排出量算出済み 削減目標の設定は未実施	未達成

⑥	・2026 年度までに電子カルテシステムの稼働により、カルテ情報のペーパーレス化 80%を実現する 以降は改めて目標を設定する	・2025 年度 ペーパーレス化 38%	未達成
⑦	・2026 年度までに医療・介護サービスにおける廃棄物の項目別廃棄量を算定し、削減目標を設定する 以降は当該目標に沿った削減を進める	・2025 年度 一般廃棄物量算出済み 医療廃棄物量算出未実施 削減目標設定は未実施	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI⑦の項目別廃棄量の算出について、一般廃棄物の算出および減量計画書を策定済み。一方、医療廃棄物に関しては、医療の社会的な使命など考慮しつつ慎重に検討していく方針。医療廃棄物については、将来的に算出および目標を設定する予定としている。当面は一般廃棄物を対象として廃棄量の算出と管理を行う。
- ・KPI③～⑥は期間設定のある目標で、いずれも達成に向けて取り組みを進めており進捗は問題ないと判断できる。目標期限は2026年であり、進捗を十分に確認しながら必要な支援策を講じていく。

【藤堂工業株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・2027 年度までに医療機器（新分野）の製造ラインを構築し、量産体制を確立する。 （2028 年度以降の医療機器製造に関する KPI・目標は改めて設定）	・未実施	未達成
②	・自家消費型太陽光発電システム発電量を 2028 年までに 200,000 k Wh とする（2029 年以降の目標は改めて設定） 2022 年 2-4 月（実績）26,191 k Wh 2022 年度（実績）122,720kWh 2023 年度（見込）115,944kWh	・2025 年度発電量 116.493kwh	未達成
③	・産休、育休復帰後 1 年間の離職率 0%	・2025 年度離職率 0%	達成
④	・60 歳の定年再雇用希望者の雇用率 100%維持	・2025 年度再雇用率 100%	達成
⑤	・2024 年度に年間 23 日、2025 年度以降に年間 24 日以上ノー残業デー実施	・2025 年度 24 日の実施 2026 年度 26 日を実施中	達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①については、まだ量産には至っておらず達成には若干の遅れはあるものの、試作品製造から機能評価、繰り返しの改良により、医療機器メーカー及び大学病院等の評価は高まっている。現状、単発受注ではあるがサプライヤーとの品質保証体制を強化し、量産受注に繋げていく方針。進捗が遅れているものの、量産に向けて前向きに取り組んでいると判断できる。
- ・KPI②について、第 5 工場への太陽光増設（117,000kwh/年）を検討しており、2028 年中には達成する見通し。

【城西運輸機工株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・2029 年度までに風力発電関連工事の年間売上高を 10 億円に増加させる（新規事業のため過去実績なし）	・2025 年度売上高 2.1 億円	未達成
②	・2027 年度までに製造から 10 年以上のクレーン車台数を 0 台（2024 年度：73 台）とし、	・2025 年度クレーン車台数 113 台	未達成

	今後の新規導入車両は全て環境配慮型車両に更新する	・新規導入車両は全て環境配慮型車両	
③	・2025 年度までに自社で排出している GHG 排出量の測定を開始し、以降継続する	・GHG 排出量の測定を開始 2025 年度実績 8,444,730t-CO2	未達成
④	・2026 年度までに SBT 認証水準の目標設定を行い、以降は設定した目標に沿った GHG 排出量削減に取り組む	・未実施	未達成
⑤	・2029 年度までに女性のクレーンオペレーター、トラックドライバーを計 12 人に増加させる (2024 年 3 月時点、クレーンオペレーター 3 人、トラックドライバー 3 人)	・2025 年度増加なし	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①は風力発電関連の工事を新規受注できたことで実績計上となったものの、今後更なる拡大を目指していく。
- ・KPI②については、昨今の新車クレーン車両の価格が上昇し、発注から納車までの期間が長期化していることを受け、やむを得ず中古車両を購入しているものの、すべて環境配慮型車両を導入しており、KPI の趣旨に反していない。
- ・KPI④については目標設定を検討している段階にあり、早期に目標設定を行う。
- ・KPI⑤における女性のオペレーターおよびドライバーの人数に変化はないが、女性を積極的に採用する方針に変更はない。引き続き、採用に向けた取り組みを強化していく。
- ・未達成の項目は全て期間設定のある目標であり、期限までの達成に向けて着実に取り組んでいく。

【コンチネンタル株式会社】

	KPI 内容	実績	達成状況
①	・2029 年 7 月期までに 2023 年 7 月期比売上高 47%増加 2023 年 7 月期実績：13 億 6,182 万円 2029 年 7 月期目標：20 億円	・2026 年 3 月期売上高 4.2%減少 売上高 13 億 698 万円	未達成
②	・2025 年 7 月期中に SBT 認証を取得する	・2025 年 5 月に取得	達成
③	・2018 年 7 月期を基準に GHG 排出量を 2029 年 7 月期までに 50%削減する	・集計未了	未達成
④	・毎年 3 名以上の新規採用を行い、2029 年 7 月末時点の従業員数を 125 名以上とする (2024 年 7 月末時点：94 名)	・2025 年度 3 名、2026 年度 5 名の新規採用 (2026 年 3 月時点の従業員数 103 名)	未達成
⑤	・2025 年 7 月期末までにエンゲージメントスコアを算出し、以降は前年より向上させる (2024 年 7 月期末時点：未実施)	・未実施 調査項目については設計済み	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・決算月を 7 月から 3 月へ変更したことに伴い、KPI の目標期限はそれぞれ既存目標翌年の 3 月に変更する。
- ・KPI②は、SBT 認証を取得し達成。
- ・採用面については当社単体で順調に推移している。従業員数 103 名と当初の 94 名から順調に増加している。
- ・KPI③については SBT 認証取得を支援した外部専門家と継続的に連携しながら取り組みを進めているものの、現時点で年間集計が未集計であることから早期の対応を求めていく。
- ・KPI⑤については、未実施であるが 2026 年度中に実施を予定しており、着実な取り組みを支援していく。

【株式会社ナガイ運送】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・2027 年度売上高を 2023 年度比 20%増加	・2025 年度売上高 771,306 千円 2023 年度比 11.4%増加	未達成
②	・2027 年度まで毎期、保有するトラック（大型車、6t 車、中型トラック）の燃費を前年度比 1.5%向上 ※燃費：総走行距離／総使用燃料数量 ※燃費改善率の過去実績 2021 年度 大型車：0.91%、6t 車：1.01% 中型車：0.87% 2022 年度 大型車：0.95%、6t 車：0.94% 中型車：0.90% 2023 年度 大型車：0.94%、6t 車：0.99% 中型車：0.95%	・2025 年度（2024 年度比） 大型車 3.16%向上 6t 車 5.47%悪化 中型車 12.1%向上	未達成
③	・2027 年度の 1 人あたりの月間平均時間外勤務時間 2023 年度比 30%削減 (2023 年度 19.6 時間/人)	・2025 年度 22.1 時間/人 2023 年度比 12.7%増加	未達成
④	・2027 年度の有給休暇取得率 50%達成 (2021 年度 11.8%、2022 年度 19.6%、2023 年度 30.6%)	・2025 年度取得率 42.3%	未達成
⑤	・交通事故発生件数 0 件を維持	・2025 年度交通事故件数 0 件	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①の売上高については増収傾向にあり、賃料収入も含めて目標達成を目指していく。
- ・KPI②については一部車両で悪化しており、アイドリングストップの徹底や社内研修、運行管理者からドライバーに対しての指導にて改善を目指していく。
- ・KPI③の時間外労働については、受注増加と共に増えつつあることから、要因の把握や分析に努めるとともに対応策についてディスカッションを行っていく。
- ・KPI④、⑤については順調に推移しており、目標達成に向け進めていく。

【株式会社旭工業】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・2027 年度において、売上高 24.3 億円(2023 年度比 5.0%増加)以上 を達成 (2023 年度：23.1 億円)	・2026 年 3 月期売上高 21.3 億円	未達成
②	・2027 年度までに製品 1 個あたりの製造に要するエネルギー使用量を、100kwh/個とする (2023 年度：106.4kwh/個) ・2027 年度までに社内不良率 0.400%まで低減させる。(2021 年度：0.494%、2022 年度：0.452%、2023 年度：0.426%) ・環境マネジメントシステム国際規格 ISO14001 の維持	2026 年 3 月期 ・エネルギー使用 101.3kwh/個 ・不良率 0.460% ・ISO 維持	未達成
③	・産休・育休復帰後 1 年間の離職率 0%の維持 ・60 歳の定年再雇用希望者の雇用率 100%維持 ・2027 年度までに時間外労働時間ゼロの達成 (2023 年度：平均 29 時間)	2025 年度 ・離職率 0% ・再雇用率 100% ・時間外労働時間ゼロ	達成

④	・2027 年度有給休暇取得率 90.0% (2023 年度：84.9%) ・2027 年度における外国人社員の日本語能力検定試験 4 級以上の取得率 60% 達成 (2023 年度 45.5%)	2025 年度 ・有給休暇取得率 94.1% ・当該資格取得率 75%	達成
---	---	---	----

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・売上高は業界全体で減少傾向だが、取引先見直しや新規受注先の開拓にて 2027 年度に KPI①の達成を目指している。
- ・KPI②のうち、エネルギー使用量と不良率は未達であり工程等の見直しにより改善に努めてく。なお、ISO14001 については維持を継続している。
- ・KPI①②はいずれも 2027 年度までの目標であるが、進捗は良好で目標達成の可能性は高いと判断できる。③④は目標達成しており、④は前倒しでの達成となっている。
- ・目標達成項目については、当社にとって更なる高みを目指せるような見直しを協議していく。

【株式会社アップデート】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・イエラテ不動産の販売契約累積件数を 2027 年度末までに 119 件とする。(2024 年度新規立ち上げのため、過去実績なし) ※2028 年度以降の目標は改めて設定する	・ 2025 年度販売契約累積 26 件	未達成
②	・2025 年度までに受託する新築住宅の 90%を ZEH 住宅とする 【2023 年度実績】 新築住宅 ZEH 割合 78%	・ 2025 年度新築 ZEH 住宅実績 98%	達成
③	・2025 年度までに受託する中古住宅リノベーションの 25%で断熱性能を高めるなどして ZEH 化する ※2026 年度以降の目標は改めて設定する 【2023 年度実績】中古リノベ住宅 ZEH 割合 0%	・ 2025 年度中古 ZEH 住宅実績 33%	達成
④	・2026 年度までに GHG 排出量を見える化し SBT 認証の水準と同等の GHG 削減目標を設定、実行する	・ 未実施	未達成
⑤	・2027 年度末までに当社グループ従業員数を 240 名とする ※2028 年度以降の目標は改めて設定する 【当社グループの従業員数推移】 2022 年度末：84 名、2023 年度末：119 名	・ 2025 年度末 グループ従業員数 124 名	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①と⑤については 2027 年度までの目標設定であるが、実績との乖離が大きい。目標未達の原因や達成の見通しを十分に分析した上で、モニタリングや必要に応じたサポートを徹底し、目標達成を目指す。
- ・KPI②と③については達成しているが、KPI 設定当初より 2026 年以降に目標を再設定することとしており、新たな目標値を検討していく。引き続き KPI 達成に向けて社内改善、施策実行していく。

【すみれアセットマネジメント株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・すみれリビングにおける不動産管理戸数を 2029 年 5 月末までに 2,200 戸とする 2022 年 5 月末管理戸数 2,020 戸 2023 年 5 月末管理戸数 2,040 戸 2024 年 5 月末管理戸数 2,067 戸	・2025 年 5 月末 不動産管理戸数 2,105 戸 ・2026 年 5 月末 不動産管理戸数 2,203 戸	達成
②	・すみれリビングにおける岐阜県内での今後 5 年間（2024 年 6 月～ 2029 年 5 月）の不動産売買・賃貸仲介実績件数の累計を 5,000 件とする（年間平均 1,000 件） 2022 年 5 月末実績 850 件 2023 年 5 月末実績 802 件 2024 年 5 月末実績 993 件	・2026 年 5 月末 売買・賃貸仲介実績件数 1,646 件 2025 年 5 月末 780 件 2026 年 5 月末 866 件	未達成
③	・すみれ地域信託の財産額を 2029 年 5 月末までに 5,000 百万円とする 2023 年 5 月末残高 4,500 百万円 2024 年 5 月末残高 4,500 百万円	・2026 年 5 月末残高 4,300 百万円	未達成
④	・2026 年 5 月末までに GHG 排出量の可視化・削減に向けたグループ内の体制を構築し SBT 認定水準の GHG 削減目標を設定・開示する ・2026 年 5 月末以降は設定した目標に基づきグループ全体で排出削減に取り組む	・未実施	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①は達成しているが、今後も維持・拡大を目指す前向きな姿勢が見られる。
- ・KPI②売買・賃貸仲介実績件数や③地域信託財産額はいずれも 2029 年 5 月末までの目標となっており、KPI の内容を社内で共有し意欲的に取り組んでいるため進捗は良好と判断。
- ・KPI④GHG 削減目標の設定・開示は遅延しており、計測ツールの紹介や助言を行うことで次回モニタリングに向けた達成を支援。必要に応じ外部専門家も紹介し早期達成をサポートする。

【株式会社 E アル】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・2030 年 3 月期に売上高 400 百万円達成（2024 年 3 月期実績：312 百万円） ※以降の KPI は改めて設定する	・2026 年 3 月期売上高 160 百万円	未達成
②	・2029 年 3 月期までに CO2 排出量を 2026 年 3 月期比で 20%削減（2026 年 3 月期より算定開始） ※以降の KPI は改めて設定する	・2026 年 3 月期 CO2 排出量：19.08t-CO2（基準） 基準となる排出量を今回算定した。	未達成
③	・2030 年 3 月期までに年間休日を 123 日に増加（2024 年 3 月期実績：120 日） 以降の KPI は改めて設定する	・2026 年 3 月期年間休日 120 日	未達成
④	・2029 年 3 月期までに有給休暇取得率 80%以上を達成（2024 年 3 月期実績：70%） 以降の KPI は改めて設定する	・2026 年 3 月期取得率 39%	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・物価高騰で取引先の設備投資が見直し・延期され、売上高は前年を大幅に下回った。案件相談件数

は堅調だが条件面で受注に繋がっていないケースが見られる。売上高だけではなく、採算性も重視していく必要があることから受注見通しなどモニタリングする中で、必要に応じて KPI 見直しを検討する。

- ・ KPI②については、今回基準となる CO2 排出量を算出できたことから、今後は削減に向けて実践していく。
- ・ KPI④については経営陣からの声掛けや周知が必要な項目であり、積極的な有給休暇取得を促していく。

【構造メンテ株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・ 年間工事受注件数を毎年増加させ、2029 年 5 月期の年間受注件数を 20 件とする。また、全体の件数のうち、半分以上は富山県内の工事受注を目指す。以降は改めて、目標を設定する (2024 年 5 月期実績：全体件数 10 件、富山県内割合 50%)	・ 2026 年 5 月期受注工事数 23 件 (うち県内工事 18 件)	未達成
②	・ 2029 年 5 月期までに国(国土交通省、防衛省)と富山県の公共工事入札資格を取得する。以降は取得した資格を維持する(現在は富山県内 4 市：富山市、高岡市、射水市、砺波市 の入札資格を保有)	・ 2025 年 4 月に取得済み	達成
③	・ 2026 年 5 月期までに GHG 排出量の把握(見える化)を行い、以降は前期の排出量を下回るよう削減を進める	・ 未実施	未達成
④	・ 2028 年 5 月期までに SBT 認証の取得を行い、以降は計画に沿った GHG 排出量の削減を進める	・ 未着手	未達成
⑤	・ 社内の有資格者を毎年度 2 名ずつ増加させる (2024 年 5 月期実績：21 名)	・ 2025 年度有資格者 3 名増加	未達成
⑥	・ 2027 年 5 月期までに健康経営優良法人(経済産業省)の認定取得ととやま健康企業宣言 Step2(金)の認定取得を行い、以降は認定を維持する 〔現在とはやま健康企業宣言 Step1(銀)を保有〕 とやま健康企業宣言 Step2(金)の認定取得 以降は認定を維持(～2027.5)	・ 未取得	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・ KPI①、⑤は毎年度の継続目標であり、引き続き達成を目指していく。なお、KPI⑤については、1 級土木施工管理技士 2 名、登録機械土木基幹技能士 1 名が増加。さらに講習を受講済みの資格も多数あり、更なる有資格者の増加が期待できる。
- ・ KPI③および④は未達成ながらも、省エネ最適化診断を検討しており、達成に向けた動きがあることから、引き続き達成に向け支援していく。
- ・ KPI⑥のうち、健康経営優良法人については、モニタリングでの取得支援提案などを行い、当社とのリレーションをさらに深めていく。とやま健康企業宣言 Step2(金)は必要な要件を満たしていない項目があり、時間を要する可能性があることから KPI の見直しも検討していく。

【長岡工業株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・2027 年 5 月期までに製造から 20 年以上経過した高圧ガス容器の検査本数を年間 9,000 本とする (2024 年 5 月期：2,430 本)	・2026 年 5 月期 検査本数 4,727 本	未達成
②	・2027 年 5 月期までに当社が検査する高圧ガス容器（製造から 20 年以上経過）のうち、バルブの 2 年検査（※）利用率を 55%とする ※バルブを追加で 2 年使用可能となる再検査 (2024 年 5 月期：実績なし)	・2026 年 5 月期利用率 73.7%	達成
③	・2027 年 5 月期までに年間 CO2 排出量を 2024 年 5 月期比 29t-CO2 削減する (2024 年 5 月期：年間排出量 96t-CO2)	・2026 年 5 月期 2024 年 5 月期比 2.8t-CO2 削減	未達成
④	・残ガス利用率実質 100%（※）の維持 ※不純物を取り除いた残ガス全ての再利用	・100%の維持	達成
⑤	・2027 年 5 月期までに入社後 3 年以内定着率を 90%とする (2024 年 5 月期：84%)	・2026 年 5 月期定着率 66.6%	未達成
⑥	・従業員向け講習・セミナー開催回数を年間 10 回以上とする (2024 年 5 月期：年間 5 回)	・2026 年 5 月期当該講習・セミナー開催 5 回	未達成
⑦	・育児休業取得率 100%の維持 (2024 年 5 月期：100%)	・2026 年 5 月期取得率 100%	達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①については取引先方針の影響が強く、企業努力での増加が難しい。
- ・バルブは製造から 6 年半が使用期限であり、KPI②検査するガス容器の入庫時期により 2 年検査が行えない場合もあるが、利用率は 55%以上を確保。
- ・KPI④および⑦については継続目標であるが、100%を維持している。
- ・KPI①、③、⑥は進捗が低調であり、ディスカッションを行い目標達成に向けたモニタリングや支援を徹底する。

【株式会社篠はら】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・個人用住宅向けの年間リフォーム工事件数を 2030 年 2 月期までに 220 件とする (2024 年 2 月期：143 件)	・2026 年 2 月期工事件数 194 件	未達成
②	・個人用住宅向け工事の年間成約率を毎年 50%以上とする (2024 年 2 月期：39.5%)	・2026 年 2 月期成約率 62.9%	達成
③	・2026 年 2 月期までに温室効果ガス排出量を可視化する ・2027 年 2 月期以降は、毎年前期比 4.2%以上の削減を進める	・2025 年 2 月期 105t-CO2 ・2026 年 2 月期 93t-CO2 温室効果ガス排出量の可視化を実施	達成
④	・2030 年 2 月期までに年間社内研修（※）の実施回数を 15 回以上とする (2024 年 2 月期：10 回) ※マナー研修、営業の勉強会、技術勉強会、協力業者との勉強会 等	・2026 年 2 月期研修実施回数 12 回	未達成
⑤	・2030 年 2 月期までに従業員数を 28 名とする (2024 年 2 月期：23 名)	・2026 年 2 月期従業員数 23 名	未達成

⑥	・育児休業取得率 100%の維持 (2024 年 2 月期：対象者 1 名、取得者 1 名)	・2026 年 2 月期対象者なし	未達成
---	---	-------------------	-----

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①の進捗は良好であり、引き続き工事件数の増加に努める方針。
- ・KPI②は工事成約率 62.9%と年間の目標を達成。但し、期間目標であり継続して達成を目指す。
- ・KPI③温室効果ガス排出量の可視化についても取り組みがなされ達成した。今後は、毎年の削減が目標となることから積極的な取り組みを実施していく。
- ・達成状況の進捗は良好な項目がある一方、KPI④や⑤など、人材の採用・定着には課題があるように見受けられる。人材確保・定着、組織強化においては当行の支援メニューでのフォローも実施しながら目標達成に向け支援していく。

【ワカノ電工株式会社】

	KPI 内容	実績	達成状況
①	・2028 年度まで毎期、太陽光パネル及び蓄電池の設置工事の件数を 2023 年度対比 20%ずつ増加させる（※2023 年度実績 7 件） （目標）：2025 年度 8 件、2026 年度 10 件、2027 年度 11 件、2028 年度 13 件 2029 年度以降の目標は改めて設定する	・2025 年度該当工事件数 3 件	未達成
②	・2028 年度までに、住宅向け省エネ関連商材の販売額を 2023 年度対比 30%増加させる （実績）：2023 年度：139 百万円 2029 年度以降の目標は改めて設定する	・2025 年度販売額 282 百万円 50.7%増加	達成
③	・2028 年度までに公的資格（※1）等取得者数を新たに 8 名増加させる 2029 年度以降の目標は改めて設定する	・2025 年度公的資格取得者 0 名	未達成
④	・2025 年度中に GHG 排出量を算定・把握し、以降毎期 4.2%ずつ削減する	・未着手	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・本業において、KPI①の太陽光パネル及び蓄電池の設置工事件数は未達であるが、KPI②の住宅向け省エネ関連商材の販売額は目標を達成した。KPI①については年度毎に件数を積み上げていく計画であり、要因と今後の対応策を社内で検討の上、営業推進していく方針である。
- ・KPI③における公的有資格者数の増加や KPI④における GHG 排出量算定にも課題を残している。社内では資格取得に向けた声掛けを実施しているが、資格取得までには至っておらず社内での更なる支援が必要である。GHG 排出量算定については、業務の繁忙感により劣後しているが、当社事業との関連性も高いことから必要に応じて当行より外部提携先の紹介や連携を視野に入れ支援を実施していく。
- ・KPI②については、期間を前倒しで目標達成しているが、2029 年度までは同水準の維持・拡大を目指していく。

【株式会社白峰産業】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・2029 年度までに当社が管理する森林面積を 2,145ha とする (2024 年度実績：1,949ha)	・2025 年度 管理森林面積 1,949ha	未達成
②	・2026 年度までに当社が管理する森林での CO2 吸収量をクレジットとして創出(目標:4,500t-CO2)するとともに、創出したクレジットを全て販売する (2024 年度実績なし) ※CO2 吸収量は J-クレジット制度における算定方法に基づく	・2025 年度未実施 但し、クレジットの認証手続中	未達成
③	・2029 年度までに木材(原木・廃材・未利用材)の販売先を 5 先に増加させる (2024 年度実績：2 先)	・2025 年度販売先 2 先	未達成
④	・森林施業プランナー(※)を毎年度 1 名ずつ増加させる (2024 年度実績：0 名) ※森林所有者に対して間伐等の施業の提案を行う専門家	・2025 年度増加なし	未達成
⑤	・2025 年度中に白山市健康づくり宣言を行い、2026 年度中に健康経営優良法人を取得、以降は認定を継続する	・未実施	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①管理森林は地権者と調整し段階的に拡充する方針である。
- ・KPI②クレジット認証はコンサル支援の下で手続中であり、時間を要しているが取り組みは継続中である。早期認証取得、販売を目指している。
- ・KPI③は前年度から増減なく、新規受注先開拓に向けて営業を強化していく考えである。
- ・KPI④については 2026 年度に複数名の受験を予定しており、取得支援を継続していく。
- ・KPI⑤は要件が充足していない項目の補完に努めた結果、2025 年度の申請を見送っている。社内体制の整備をした上で早急に申請手続きに進めていく。

【ダイエープロビス株式会社】

KPI 内容		実績	達成状況
①	・住宅部門の全体の竣工棟数を 2027 年 12 月期までに累計 300 棟とする 2028 年 12 月期以降の目標は改めて設定する 【2024 年 12 月期実績】 住宅全体竣工棟数：累計 81 棟	・2025 年度までの累計 146 棟 2025 年度期間増 65 棟	未達成
②	・「D-GRID HOUSING」の竣工棟数を 2027 年 12 月期までに累計 22 棟とする 2028 年 12 月期以降の目標は改めて設定する 【2024 年 12 月期実績】新規ブランド「D-GRID HOUSING」の竣工棟数：累計 1 棟	・2025 年度までの累計 4 棟 2025 年度期間増 3 棟	未達成
③	・2026 年 12 月期までに GHG 排出量の「見える化」を行い、以降は毎年前期比 4.2%ずつ削減していく 2028 年 12 月期以降の目標は改めて設定する	・取り組み中	未達成
④	・建築廃材(廃石膏ボード)のリサイクル量を 2030 年 12 月期までに 30t 以上とする	・各年度実績 2023 年度：10.0t	未達成

	2028 年 12 月期以降の目標は改めて設定する 【2024 年 12 月期実績】建築廃材（石膏ボード）のリサイクル量：16.1t	2024 年度：16.1t 2025 年度：21.5t	
⑤	・対象資格（※1）の資格取得者数を 2030 年 12 月期までに 20 名とする（※1）土木施工管理技士、建築施工管理技士、電気工事施工管理技士、管工事施工管理技士、造園施工管理技士、宅地建物取引士 以降の目標は改めて設定する 【2024 年 12 月期実績】資格取得人数 15 人	・2025 年 12 月期 資格取得者数 11 名 一級建築施工管理技士：1 名 一級建築施工管理技士補：3 名 一級土木施工管理技士補：3 名 二級建築施工管理技士補：2 名 宅地建物取引士：2 名	未達成
⑥	・有給休暇取得率を 2027 年 12 月期までに 70%以上とする 2028 年 12 月期以降の目標は改めて設定する 【2024 年 12 月期実績】有給休暇取得率 45%	・2025 年 12 月期取得率 52.6%	未達成
⑦	・2027 年 12 月期までに従業員数を 131 名とする 2028 年 12 月期以降の目標は改めて設定する 【2024 年 12 月期実績】従業員数 118 名	・2026 年 5 月末従業員数 113 名	未達成

<取り組み状況の進捗と今後の課題>

- ・KPI①については進捗率 49%と進捗が芳しくないものの、当社のメイン事業における本業 KPI、かつ経営指標でもあることから、2027 年 12 月期までに 100%達成を目指す方針に変わりはない。同業者との競争は激しいものの、営業マンを中心に営業強化を実施中。期間中の達成が難しいと判断する際には協議の上、適切な水準に見直すことを検討する。なお、2026 年 5 月時点において進捗率 53%となっている。
- ・KPI②については、2026 年 5 月時点において累計 15 棟（進捗率 68%）まで到達しており、引き続き期間内での目標達成を目指していく方針。
- ・GHG 排出量の見える化については未着手であったが、モニタリングを機に見える化ツールを活用し、排出量算定について取り組みを開始した。2026 年 12 月期中には排出量開示となる見通しであり KPI③の目標達成に向けて着実に進めていく。
- ・KPI③については従業員の退職等に伴い、対象資格の有資格者数が減少。いずれも難関資格であることから資格取得に向けて社内での支援を充実させていく方針。
- ・KPI⑥、⑦については着実に進捗が見られることから、引き続きモニタリングでの支援を実施していく。

【株式会社ナカムラ】

	KPI 内容	実績	達成状況
①	・2030 年 3 月期までに解体工事請負事業の売上高を 2024 年 3 月期比 23.6%増加 2024 年 3 月期実績：873 百万円 2030 年 3 月期目標：1,080 百万円 ※2031 年 3 月期以降の売上目標は改めて設定する	・2024 年 3 月期比△10.7% 2026 年 3 月期：780 百万円 目標進捗率：72.2%	未達成
②	・2026 年 3 月期中にコンクリートがらの中間処理施設新設認可を取得。	・未取得	未達成
③	・2030 年 3 月期までに、コンクリートがらの自社再利用及び対外販売重量を、2024 年 3 月期比 50%以上（12,500t）増加させる	・未実施	未達成

NEWS RELEASE

	(2024 年 3 月期重量：約 24,276t) ※2031 年 3 月期以降の自社内再利用及び対外的な販売重量目標は改めて設定する		
④	・2030 年 3 月期までにコンクリートがらの自社再利用及び対外販売重量 +50%以上 (2024 年 3 月期比)	・未実施	未達成
⑤	・毎年期末人員を 2 名増加させ、2030 年 3 月末時点の従業員数を 44 名以上とする (2025 年 2 月末時点：32 名) ※2031 年 3 月期以降の期末従業員数目標は改めて設定する	・2026 年 3 月末時点：36 名 (前期比 +4 名)	未達成
⑥	・労災事故発生件数を每期ゼロとする (2024 年 3 月期：1 件)	・2026 年 3 月期労災事故 0 件	達成

＜取り組み状況の進捗と今後の課題＞

- ・KPI①については、震災特需の影響もあり右肩上がりに推移してきたが、昨今の能登地震関連での受注はなく県内中心の受注となったことから減収となる。現状、工事受注件数は増加傾向にあることから期限までの達成を目指していく方針。
- ・KPI②、③、④にかかるコンクリートがらについては、当社の設備導入のタイミングでの中間処理施設新設認可の取得を計画している。目標年度より遅れているものの、達成に向け着実に進展が見られる中で、中間処理施設の稼働状況、受注状況等を把握し必要な支援を行っていく。
- ・KPI⑤、⑥については進捗が良好。安全意識改善に向けた取り組みが徹底されており、労災事故は 0 件を継続している。

【株式会社富山陽成社】

	KPI 内容	実績	達成状況
①	・2030 年 2 月期まで每期、紙製食品容器の製造を担う食品一般パッケージ部門の売上を前期比 3%ずつ増加 (2025 年 2 月期：1,435 百万円)	・2026 年 2 月期 売上高 1,440 百万円 前期比 0.3%の増加	未達成
②	・2028 年 2 月期までに FSSC22000 (食品安全システム) 認証を取得	・未取得	未達成
③	・FSC®CoC 認証(※)の維持 ※FM(森林管理)認証された森林から算出された林産物の適切な加工・流通に対する認証	・維持継続	達成
④	・2026 年 2 月期までに CO2 排出量を把握 (見える化) し、以降は每期 4.2%ずつ削減	・排出量の把握は済んでおり、削減計画を策定している段階	未達成
⑤	・2028 年 2 月期までに全工場の照明を LED へ変更(2025 年 2 月期：LED 化率 30%)	・2026 年 2 月期 60%切替済み	未達成
⑥	・2030 年 2 月期までに水性塗料使用率 100%達成(2025 年 2 月期：約 80%)	・2026 年 2 月期使用率 85%	未達成
⑦	・2030 年 2 月期までに有給休暇取得率 100%達成(2025 年 2 月期：80%)	・2026 年 2 月期取得率 73%	未達成
⑧	・男性育児休暇取得率 100%を継続	・2026 年 2 月期の該当者なし	未達成

＜取り組み状況の進捗と今後の課題＞

- ・KPI①は売上高微増であったことから未達成ながらも着実に増加。2030 年 2 月期までの毎期目標としており、増加率の拡大を目指していく。
- ・KPI②は申請に向け進展が見られることから早期取得に向け、必要に応じた支援を実施していく。

- ・ KPI③の FSC®CoC 認証の維持継続は行われており達成。KPI⑤工場の LED 化についても順調に切替している。
- ・ KPI④については、今後削減に向けた具体的な取り組みが必要になることから、外部機関の活用も視野に協議していく。
- ・ KPI⑦については取得率が低下傾向にあり課題を有する。会社全体での取り組みが必要な項目であり、経営陣を中心に全社周知の上で着実に取得率を増加させていく。
- ・ いずれも期限前ではあるが、モニタリングや必要に応じたサポートを徹底し、早期目標達成を目指す。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：平瀬・松森

TEL 076-461-3871